

〈世界90カ国・地域から85,000名を超える食のプロが幕張に集う4日間〉

The 46th International Food and Beverage Exhibition

FOODEX JAPAN 2021



第46回 国際食品・飲料展

アジア最大級の国際食品・飲料展「FOODEX JAPAN 2021」 出展企業を募集

- ・世界90カ国以上から訪れる多数の有力バイヤーとの商談機会を提供
- ・注目ゾーン「輸入食品」「日本食輸出展・和食産業展」「FOODEX Frozen」「FOODEX TECH」
- ・新企画ゾーン「SDGs in FOODEX JAPAN2021」を実施

<公式ホームページ> <http://www.jma.or.jp/foodex/>

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）ほか4団体は、2021年3月9日（火）～12日（金）に、幕張メッセ（千葉市）で、アジア最大級の国際食品・飲料展「FOODEX JAPAN 2021（フーデックスジャパン）」を開催します。

本展は、日本全国、世界の食品・飲料のトレンド発信地として行われるアジア最大級の食品業界関係者向けの専門展示会です。46回目の開催となる「FOODEX JAPAN 2021」は、「輸入食品」「日本食輸出展・和食産業展」「FOODEX Frozen」「FOODEX TECH」の注目ゾーン拡大に加え、新企画「SDGs in FOODEX JAPAN2021」を実施し、過去最大の出展規模となる見込みです。

現在、国内外の的外食、中食、小売、EC、食品メーカーなどの業界関係者に向けた、食品・飲料メーカー、食品・飲料製造・加工機械メーカー、商社・卸の出展を募集しています。

出展ブース料金（税込）は、1ブース（間口・奥行2.7m×高さ2.7m）あたり407,000円（税込）（主催5団体の正会員および賛助会員）、会員外は440,000円（税込）。出展申し込み締め切りは2020年10月9日（金）。※2020年7月31日（金）までに申し込むと、早期申込特典で1ブースにつき55,000円割引。お問い合わせは日本能率協会 FOODEX JAPAN 事務局まで（E-mail：foodex@jma.or.jp）まで。

〈開催概要〉

展示会名	FOODEX JAPAN 2021（第46回国際食品・飲料展）
会 期	2021年3月9日（火）～12日（金）の4日間10:00～17:00（最終日は16:30まで）
会 場	幕張メッセ
主 催	一般社団法人日本能率協会 一般社団法人日本ホテル協会 一般社団法人日本旅館協会 一般社団法人国際観光日本レストラン協会 公益社団法人国際観光施設協会
協 賛	関連51団体（申請予定）
予定展示規模	3,500社／4,500ブース（前々回3,316社／4,554ブース）
予定来場者数	85,000名（前々回実績80,426名）
来場対象	食品・飲料の購買担当者（外食・中食、小売、EC、商社・卸、食品メーカー） ※本展は、ビジネスや商談を目的とした食品業界関係者向けの専門展示会です。

【本件に関するお問い合わせ】 一般社団法人日本能率協会 産業振興センター内
FOODEX JAPAN事務局(担当：青木、長野、西中、吉田、山野辺、金田、竹生、富浦)
TEL：03-3434-3453 E-mail：foodex@jma.or.jp
〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22
※取材のお問い合わせは、広報室（TEL：03-3434-8620／担当：田部,川村）へお願いします。

注目ゾーン概要

注目ゾーン「輸入食品」日本初上陸商品 特別展示のご紹介

NEXT タピオカドリンクはこれだ！次にバズる日本初上陸商品の出展を大募集

輸入食品 ～輸入食品で日本の食卓を豊かに！輸入品を求めるバイヤーが多数来場！～

次回 FOODEX JAPAN2021 では、日本の食卓を豊かにする輸入食品に焦点を当て、新型コロナウイルスの影響で縮小している国際的な取引の拡大と、次に流行る日本初上陸商品をピックアップする「日本初上陸商品」特別展示を実施します。

輸入食品ゾーン出展および海外出展企業より、出展申込後、日本初上陸商品(2020年10月以降)のエントリーを受付、2021年3月の会期に向けて商品PRおよび会場での特設展示を行います。

出展対象

- 世界各国食材（チーズ・生ハム・牛肉・調味料・ベーカリー製品・冷凍野菜等）
- 輸入菓子（チョコレート・ビスケット・スナックなど）
- ワイン・ビール・スピリッツ、紅茶・コーヒー・ソフトドリンク など

注目ゾーン「日本食輸出展・和食産業展」

「産地」「海外展開」「ライフスタイル」「新ブランド」「輸出」がキーワード！

伝統的工芸品と厨房機械の海外展開・輸出の販路機会もFOODEX JAPANで得られます！

日本国内の人口減少に伴い、市場縮小、生産額・企業数が減少の一途を辿る一方で、海外の日本食レストランの数は2006年の6倍の15万6千店（2019年）まで増加するなど、海外における日本食の需要は高まっています。日本食に関する海外需要の高まりを背景に、次回のFOODEX JAPANでは日本産食材だけではなく日本の伝統的工芸品、厨房機器なども海外バイヤーに向けて紹介します。

出展対象

- 日本食輸出展（輸出食品、飲料全般、HACCP設備・機器、輸送、サービス）
- 和食産業展（海外向けの日本食を彩る伝統的工芸品、食器・ガラス・繊維・デザイン、和食レストラン用の厨房機器、和食というブランドを売りに販路開拓を目指されたい方）

注目ゾーン「FOODEX Frozen」 美食女子Award 2021 開催！！

活躍する女性応援プロジェクト!フローズンフーズの新商品を表彰します！

女性の就業率の高まりに伴い、「時短」「簡単」「おいしい」を叶えるフローズンフーズの市場は1兆円を超えてもなお成長し続けています。FOODEX Frozenゾーンでは国内・海外のフローズンフーズ展示と合わせて、前回好評を頂いた、活躍する女性を応援するプロジェクト「美食女子Award 2021」も継続開催いたします。女性バイヤー及び一般審査員150名による試食審査を突破し、見事入賞を収めた新商品をFOODEX JAPAN 2021会場内のステージにて発表・表彰式を実施します。

出展対象

- 業務用・家庭用冷凍食品、冷凍スイーツなど

注目ゾーン「FOODEX TECH～食の生産性向上・流通合理化展～」

日本をはじめとしたアジアにおける食品製造・流通課題を解決！

食品メーカーの生産・開発・流通担当者を対象としたカンファレンスも開催！

食品機械輸出の主要ターゲットであるアジアからの来場者が8割を占めるFOODEX JAPANにおいて、食の生産性向上及び流通の合理化を世界へ提案するFOODEX TECHゾーンを前回に続き設置します。また、前回よりさらに強化を行うフローズンフーズ出展誘致と連動し、冷凍及び鮮度保持技術に関しても新たな情報発信を行います。

さらに、生産・開発・流通担当者の来場を強化するため、日本を含むアジアにおける大手食品メーカーが食品製造と流通におけるヒントを共有するカンファレンスを開催予定です。

出展対象

- 食品加工機械
(製めん機、寿司・おにぎり製造機器、精米機器、千切り機、製パン・製菓機器など)
- 食品製造の生産性向上ソリューション
(FAシステム、作業効率化システム、生産・品質管理システム、保全、制御システム、ロボットおよび関連機器、養殖管理システムなど)
- 食品包装機械
(包装機器、充填機、計数・計量機、結束機、シーラー、インクジェットプリンター、印字機、ラベルシール機など)
- 冷凍（鮮度保持）技術・サービス
(鮮度保持機器・ソリューション、急速冷凍・冷却技術・機器、冷凍庫・冷凍ショーケース、貯蔵設備機器、解凍装置、温度管理輸送、空調設備・機器 など)

新企画！「SDGs in FOOD EX JAPAN2021」

**FOODEX JAPAN2021 では、食品業界における更なる SDGs 達成と実現、
世界への発信に取り組みます！**



日本政府は2030年までに940万トンあるプラスチックごみを25%減らす計画を発表(2018年)しました。日本は1人あたりのプラ容器包装の廃棄量が世界的で2番目に多い国とされています。更に食品廃棄物の発生量は1,970万トンで、そのうちの82%を食品製造業が占めています。

今回のFOODEXでは、環境と資源の保護に努めるべく、食に関するソリューションを提案します。フードロスに対応する新技術、新ビジネス、代替食品などSDGs達成に向けた製品を世界へ発信します。

出展対象

食品包装資材、テイクアウト包材、脱プラスチック製品、サステナブル・シーフード、植物性食品、代替たんぱく質、地産地消取り組み企業、生ごみ処理機、フードバンク、IT・IoT関連機器、ペーパーレス、自治体、など

以上